

科目名称	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅲ (栄養・排泄機能障害)	学年学期	単位数	時間数
		第1学年 後期	1	30 時間
担当教員	村上 英広 銚石 文彦	授業に関わる 実務経験	☒ 有 (医師) ☐ 無	

【1】授業概要

消化・吸収などの栄養機能障害によって起こる症状と主な疾患・治療について学ぶ。

【2】学習目標

1. 消化器の解剖生理を理解する。
2. 消化器疾患の病態を理解する。
3. 代表的な消化器領域で行われる検査、処置について理解する。
4. 腎臓および泌尿生殖器の構造と機能を理解する。
5. 症状とそれに対する検査・治療を理解する。

【3】第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- ☒ 1. 人間を理解し、倫理的な態度で看護を実践する力
- ☒ 2. あらゆる対象に応じた看護を実践する力
- ☐ 3. 地域の特性を看護に生かす力
- ☐ 4. 保健・医療・福祉システムにおける連携・協働できる力
- ☒ 5. 主体的に学び続ける力

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	症状、診察、検査	講義
2	消化器、肝臓、胆道、膵臓の解剖生理	講義
3	食道癌、食道アカラシア、胃食道逆流症、食道胃静脈瘤	講義
4	機能性ディスペシア、胃炎、胃・十二指腸潰瘍、胃癌	講義
5	過敏性腸症候群、感染性腸炎、潰瘍性大腸炎、クローン病、腸結核症、虚血性大腸炎、腹膜炎	講義
6	ヘルニア、腸閉塞症、寄生虫疾患、消化管鼓室、大腸ポリープ、大腸癌、肛門疾患	講義
7	肝炎(A、B、C)、脂肪肝、自己免疫性肝疾患、門脈圧亢進症、肝硬変、肝臓がん	講義
8	胆石、胆管癌、膵炎、膵癌	講義
9	基礎知識として腎臓と泌尿生殖器の構造を知る	講義
10	腎・泌尿器に起こる様々な異常、症状とその病態生理を学ぶ	講義
11	腎・泌尿生殖器に関する様々な検査法とその意義を知る	講義
12	腎・泌尿生殖器疾患に対する治療と処置の基本を知る	講義
13	腎・泌尿生殖器に起こる様々な疾患を理解し、治療法、予後などを知る	講義
14	腎・泌尿生殖器に起こる様々な疾患を理解し、治療法、予後などを知る	講義
15	試験・まとめ	

【5】評価方法

試験と、授業・学習への取り組み方による総合評価

【6】教科書

南川 雅子:系統看護学講座 専門分野 成人看護学 5 消化器(第16版) 医学書院 2025 (電子版)
 大東 貴志:系統看護学講座 専門分野 成人看護学 8 腎・泌尿器(第16版) 医学書院 2025 (電子版)

【7】参考書

なし

【8】受講生へのメッセージ

講義の内容により、担当講師が変わります。

消化器・腎臓・泌尿生殖器の解剖・生理を理解し、代表的な消化器疾患の成因・病態を学習する。また、消化器・泌尿器領域でよく行われる検査、処置、内視鏡治療についても学習する。